

科目名		特別支援教育
担当教員		義永 睦子・鳥海 順子
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>この科目では、特別支援教育についての基本的考え方を理解し、障害を持つ子どもの育ちおよび学習を支援する方法についての基礎知識を習得することを目的とします。</p> <p>障害をもつ子どもに接するとき私たちが無意識にもつ考え方を意識化して捉え、障害を多面的に捉えるようにします。また、障害をもつ子どもの保育・教育について、基礎知識を修得します。さらに、母国語や貧困の問題等により特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難や組織的な対応の必要性についても学びます。統合保育や小学校、中学校、高等学校における特別支援教育における子どもたちの育ちの様子や支援の方法、保育者・教師の在り方、他機関との連携についての理解を深めます。</p>
	テキストの概要	<p>このテキストでは、「第Ⅰ部 特別な教育的ニーズの捉え方」、「第Ⅱ部 特別な教育的ニーズの理解と支援」、「第Ⅲ部 特別な教育的ニーズに対する教育的支援」の3つの大きな柱を立て、障害および障害を持つ子どもへの支援について学びます。障害を持つ子どもの幼児期から学童期以降にわたる障害児教育(保育)を見通し、個別的な対応だけでなく、集団を活かした支援や、保護者を含めた家族支援の視点をとり入れたテキストとなっています。</p> <p>「第Ⅰ部 特別な教育的ニーズの捉え方」では、基礎知識として、障害の捉え方、障害児保育・特別支援教育の歴史的視点について学びます。また実際に子どもの教育(保育)に当たる際に不可欠な障害児の発達とアセスメントについても理解を深めましょう。</p> <p>「第Ⅱ部 特別な教育的ニーズの理解と支援」では、障害の特徴について理解を深め、支援の留意点について学びましょう。</p> <p>「第Ⅲ部 特別な教育的ニーズに対する教育的支援」と「資料編」では、幼児期から学童期以降にわたる障害児教育(保育)の実践における展開や母国語や貧困の問題等により特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難や組織的な対応を念頭に、個別的な対応だけでなく、集団を活かした支援や、保護者を含めた家族支援にも理解を深めていきましょう。</p>
授業計画		<p>WB Tで出題される所定の回数エクササイズに合格の後、WB T上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p>&lt;自宅学習&gt;</p> <p>第Ⅰ部 特別な教育的ニーズの捉え方</p> <p>第1章 特別な教育的ニーズの基礎知識</p> <p>第2章 特別支援教育の歴史的視点</p> <p>第3章 発達とアセスメントの基礎知識</p> <p>第Ⅱ部 特別な教育的ニーズの理解と支援</p> <p>第4章 視覚障害・聴覚障害の理解と支援</p> <p>第5章 知的障害の理解と支援</p> <p>第6章 肢体不自由の理解と支援</p> <p>第7章 病虚弱の理解と支援</p>

2021 武蔵野大学 通信教育部 幼免上進シラバス

	第8章 自閉症の理解と支援 第9章 ADHD の理解と支援 第10章 学習障害の理解と支援 第Ⅲ部 特別な教育的ニーズに対する教育的支援 第11章 乳幼児期の支援 第12章 学童期以降の教育的支援 第13章 特別支援学校の教育的支援 第14章 個別の教育支援計画等の理解と作成 第15章 様々な特別な教育的ニーズのある子供と保護者への支援
成績評価の方法	単位認定試験
備考	